

第71回 鳥羽 みなとまつり

とき 7月24日(金)

花火打上時間

午後8時～8時45分

※荒天の場合は花火のみ

25日(土)に順延

鳥羽の夏の風物詩「鳥羽みなとまつり」を開催します。今年もドルフィン公園付近のエリアを「花火有料観覧席」として6月1日(月)から販売します。最高の場所で花火をお楽しみください。

鳥羽みなとまつり実行委員会 TEL 25-1373

観光商工課観光係 TEL 25-1157

花火
3,333発
(予定)

観覧チケットの販売について

チケットの販売情報は、公式ホームページに掲載しています(枚数限定)

鳥羽みなとまつり実行委員会
(鳥羽商工会議所2階)

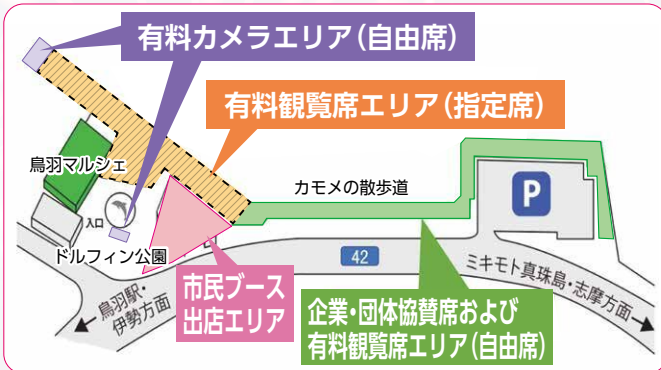
URL tobahanabi.com

TEL 25-1373 FAX 26-4988

✉ minatomatsuri@toba.or.jp



公式ホームページ



第71回鳥羽みなとまつり 飲食ブース出店団体募集について

応募資格

- ① 実行委員会が認める「鳥羽市内の非営利団体」であること
例) ○○スポーツ少年団、鳥羽○○キッズクラブ、
鳥羽○○保存会など
※メンバーに鳥羽市在住者が含まれていること
- ② 実行委員会が提示するルールを遵守すること
- ③ 7月3日(金)の出店者説明会へ必ず出席すること

出店料 1ブース 16,500円(電気利用料込)

※その他備品レンタル代など別途

申込期限 6月22日(月)

※先着順 出店スペースに限りがありますので早めに申し込んでください。

鳥羽みなとまつりと「こんぴらさん」の深い絆

鳥羽みなとまつりは、香川県の金刀比羅宮ご本宮より神様の御分霊をお迎えして建てられたことを祝う「金刀比羅宮鳥羽分社」の例大祭として始まりました。



みなとまつりの始まりは
「お祝いの花火」

昭和31年(1956年)8月10日、鳥羽の地に「こんぴらさん」が鎮座された際、市民が総出で大歓迎し、お祝いとして打ち上げた花火が現在の「鳥羽みなとまつり」のルーツと言われています。

伝統の神事「海上渡御」

毎年、花火大会の前に、神様の御分霊を乗せた「御座船」が鳥羽湾を周回します。これは、かつて讃岐の本宮から海を渡って鳥羽に到着した時の様子を再現した、歴史ある神事です。

海の守護神への感謝

古くから「海の守護神」として知られる金刀比羅の大神様。鳥羽みなとまつりは、日頃から私たち市民を見守ってくださる神様へ感謝を捧げ、地域の発展を願う大切な行事として受け継がれています。